



ID: 1411

科目名	教育課程論【26年度生用】			コード			
英語表記							
担当教員名	吉村 高男			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態	講義・演習	授業形式		履修形態	選択必修		
授業概要							
学習指導要領の概要と背景、教育課程編成の原理、学力の定義等について、歴史的な変遷も含めて議論を展開する。さらに、教育課程と深く関わっている教育評価についても議論をして、教科内容や指導と評価の一体化等について、各種演習・発表を行う授業を展開する。							
到達目標							
各学校で編成される教育課程は、国が定める学習指導要領で規程が示されている。我が国における学習指導要領の歴史を振り返り、学習指導要領の法的性格、その内容と指針、教育評価の在り方、部活動の位置づけ、総合的な学習の時間等をテーマに取りあげ、日本の教育における教育課程、カリキュラム編成の特色について理解を深めることを目標とする。							
授業計画							
第1回	戦後日本における学習指導要領の変遷						
第2回	戦後日本における教育課程編成の変遷						
第3回	学習指導要領の概要						
第4回	学習指導要領と教育課程編成						
第5回	学校の機能と教育課程						
第6回	教育課程、カリキュラムの構造						
第7回	教科論・内容演習						
第8回	教科外活動論・内容演習						
第9回	総合的学習の時間・内容演習						
第10回	カリキュラム編成の実際						
第11回	カリキュラム編成演習						
第12回	教育評価と教育課程						
第13回	観点別評価と絶対評価						
第14回	指導と評価の一体化						
第15回	まとめ						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
期末試験を主として、授業態度及び、適宜示す課題レポートも考慮に入れ、知識・理解、思考・判断、関心・意欲の観点別評価規程に基づいて評価を行う。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				20%	20%	60%	
授業外学習			テキスト、教材				
課題レポートの作成			毎時間、自作テキストを配付する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
毎時間、適切な資料を紹介する。			教育課程・カリキュラム論は、実質的な教育の根幹をなすものです。教育課程の歴史と現状を踏まえ、将来への展望を掴んでください。				
キーワード							
教育課程、カリキュラム、学習指導要領、観点別評価、指導と評価の一体化							